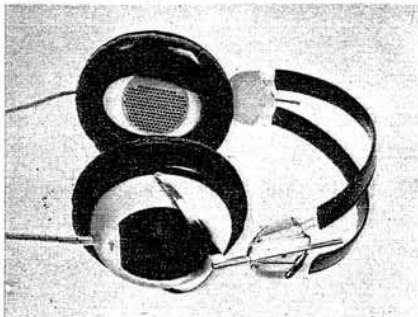


≡Stax≡

ELECTROSTATIC EAR-SPEAKER

SR-3



天国の音、音の小宇宙、
評価はさまざまですが、
SR-3が《音の本筋》を
追っていることはお分り
頂けましょう。

SR-3は音の分離の明快さに加え、響きがまことに柔かく、音楽的である。浄化された澄みきった音なので、今迄きなれたレコードがみな新しい録音であるような感じがする。耳のそばで鳴っているのに、聞いているうち、いつしか大ホールで音楽を鑑賞している気分させられる。音源の距離感やバランスが不思議なほど良いのである。私のように幾時間もつづけてレコードを聞くものに、SR-3は実に救いとさえ言える。

美しい音楽を、自然なさわやかな音で、ひとり楽しむ天国がここにある。だから私はSR-3をみんなにすすめたい。

(村田武雄氏、国立音大教授、評論家)

SR-3のよさ、それは第一に、ヘッドフォンできている感じがなく、音量感が豊かでダイナミック・レンジが広く、ffがよく伸びること。同時に、歪つばさやカラリゼーションがまづないこと。たいていのスピーカー・システムは顔マケである。

私が最も気に入っている最大の理由は、高域が目立ったピークのないことと、トランジェント特性の素晴らしいにある。

ファーとさわやかにハイがのび、カンにさわる刺戟的な音がない。高域ノイズを気にしないで済む点でも、SR-3に比肩できるスピーカーはザラにはない。

SR-3は楽しい!

(岡俊雄氏、評論家)

聴きだして1ヶ月、私はSR-3の世界が単に、ハタ迷惑の防止、などというところにあるのではないことを、改めて、驚嘆の思いで痛感している。正にスピーカーでは及びもつかない《音の小宇宙》の開発だった。私はいま、従来、大型SPで聴きなれてきたステレオ・レコードを全部SR-3で聴き直してみたいことには気が済まない。それほどの狂喜である。ラリーエーのフルートで、バイヤールが演奏したグルックの《オルフォイス》——エラートの1枚、SR-3できくと、文字どおり天の音とはこれか、と言いたい音の泉が清冽にふきあがる。

虫メガネで拡大した音楽美、音で聴く総譜——こんな音楽の《明晰さ》の世界はステージでさえ一度も持ったことがない。

(荻昌弘氏、評論家)

私のように古典音楽のみならず、プラス合奏、モダン・ジャズ、ハワイアン、ウエスタン、ダンス音楽etc.と、やたらと雑多なプログラムを、あちらも立て、こちらも立てようと欲張ると、莫大な費用と根気を投入しないとモノにならない。それがSR-3だと、どんなプログラムもソツなく再生してしまう。

だからこんな使いわけを私はやっている——スピーカーは多少ドンシャリの要素を強くしてムード的なもの専用、じっくり落ちついたハイファイにはSR-3を使う方法である。

今まで耳にしてきた再生音のうち、一番まともで、何でも安心して聴ける音質、というのがSR-3である。

(山田定邦氏、音楽之友サービス・センター重役)

イアホンは他人の迷惑をかけないためにあるものと思っていた。ところが、他人に迷惑をかけないためSR-3できこうとすると、その他人ドモ(我が家の子供達)

が、じぶん一人でそんな良い音で聞くのはズルイというのである。イヤ・スピーカーで聞くことがハタ迷惑になる、というワケだ。

良い音を字で表わすのは無謀だが、このSR-3は、スピーカーとちがって、音の歯切れが抜群で、fレンジが広く、今夜聞えなかったようなデリケートな細部の音まで再現できる上に、個々の楽器の距離までわかる。これはどんな良いスピーカー・システムでも不可能に近い。振動板の質量が小さい、そして耳との距離が近いなど、専門的な理由はあろうが、この素晴らしい音のおかげで、ハタ迷惑になったのだけは困りものだ。

(岡部冬彦氏、漫画家、音楽ファン)

スタックスはオーディオ・スペシャリストとして発足した1952年以来、試験室の公開、レポートの頒布など、お客様との《交流》をはかって来ました。レポートは残念ながら中断の己むなきに至りましたが、今度、表い新たに復刊いたしました。

来年のことを言えば鬼が笑う——と云われますが、あえて笑われる覚悟で申し上げます。これから少くとも年2回、できれば4回発行する予定です。どうぞご請求ください。

(郵券 ¥25 同封)

No. 1・2の執筆者はつぎの通り(敬称略)

林 尚武	村田 武雄
長 新太	岡 俊雄
平野 弘司	荻 昌弘
斎藤 正昭	山田 定邦
斎藤 博文	岡部 冬彦
三浦 敬吾	長沢 祥



*——カタログ贈呈S-10係
スタックス工業株式会社
東京都豊島区雑司が谷1-25-5
PHONE (981) 7 2 2 7(代表)

特約店・取扱店 ●東京——ヤマギワ電気(03)-253-2111 国立楽器(0425)-73-1111 ●札幌——大阪屋(0122)-22-0181 ●仙台——小松電気(0222)-22-8171 ●福島——フルヤマ電気(02462)-4-2972 ●新潟——ニイガタ・オーディオ(0252)-22-3362 ●金沢——中部無線商業(0762)-61-8800 ●横浜——横浜サウンド(045)-251-7749 ●名古屋無線(052)-262-6521 ●カトー無線(052)-241-7336 ●京都——宇屋河原町店(075)-221-4905 ●大阪——河口無線(06)-631-0321 阪神百貨店ステレオ部(06)-361-1201 ●広島——菅波楽器(0849)-31-1356 ●福岡——シンフォニー(株)(092)-77-0003 ●北九州——北九無線(093)-52-4448

*カートリッジの製作、アンプの設計製作、各種図面の作製に熱意ある方を求めます。25才位まで。